

四万十市産業振興計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標1）のKPI（R2～R6）

【産業振興計画】

- 1 農業分野：豊かな食を育み地域で暮らし稼げる農業
- 2 林業分野：山で若者が働く、全国トップクラスのヒノキ産地
- 3 水産業分野：次世代へつなぐ資源回復と安定し魅力ある水産業
- 4 商工業分野：顧客に選ばれる商工業と賑わいの創出
- 5 観光分野：地域の誇りが人を誘う、おもてなしの“環光”地

【まち・ひと・しごと創生総合戦略】

基本目標1：地産外商により安定した雇用を創出する

1 全体目標値

No.	評価指標	基準値（H27）	目標値（H31）	最新値	R6目標値	備考
1	①市内総生産額	1,053億円（H23） 1104億7000万円（H28遡及値）	1,100億円以上	H28 1138億0600万円	1,100億円以上	産振Ver.1で設定 最新値が目標値を上回る
2	②社会動態	▲139人 平成17年～平成25年の平均値	社会増減をプラスにする	H30 ▲206人	社会増減をプラスにする	産振Ver.1で設定

※産業振興計画では、上記目標値は10年後の平成36年度目標としていたが、総合戦略で取り組みの加速化を行うことで5年間前倒しし、平成31年度目標に修正している。

2 分野別目標値

No.	分野	評価指標	基準値	目標値（H31）	最新値	R6目標値	備考
1	農業分野	①農業市内総生産額	11億9,000万円（H23） 20億1,200万円（H28遡及値）	13億円	H28 25億4400万円	14億円以上	産振Ver.1で設定 最新値が目標値を上回る
		②認定農業者数	127人（H25）	150人以上	H30 139人	150人以上	産振Ver.1では170人以上
2	林業分野	③原木生産量	47,000m ³ （H24）	60,000m ³	H29 71,945人	75,000m ³ 以上	産振Ver.1で設定
		④木材・木製品製造品出荷額等	7億5,000万円（H24）	8億円以上	H29 804,960千円	9億円以上	産振Ver.1で設定
3	水産業分野	⑤内水面漁業漁獲量	56 t（H24）	65 t 以上	H29 49.0t	70 t 以上	産振Ver.1では80 t
		⑥海面漁業漁獲量	30 t（H24）	35 t 以上	H29 14.0t	30 t 以上	産振Ver.1では40 t
4	商工業分野	⑦小売・卸売業年間商品販売額	798億1,000万円（H19）	800億円以上	H27 690億7100万円	850億円以上	産振Ver.1で設定
		⑧製造品出荷額等	92億8,000万円（H24）	95億円以上	H28 140億0800万円	100億円以上	産振Ver.1で設定 最新値が目標値を上回る
5	観光分野	⑨観光入込客数	125万6,000人（H25）	130万人以上	H30 1,180,466人	130万人以上	産振Ver.1では140万人以上
		⑩市内宿泊者数	21万1,000人（H25）	22万人以上	H30 192,279人	22万人以上	産振Ver.1では25万人以上

3 個別目標値

1 農業分野

No.	評価指標	基準値	目標値（H31）	最新値	R6目標値	備考
1	ぶしゅかん新植面積	0.9ha（H26）	12.0ha	H30 10.9ha	25.0ha	
2	ぶしゅかん生産量	13.0ha（H26）	54.0t	H30 28.1t	150.0t	
3	ゆず栽培面積	42.5ha（H26）	42.5haを維持	H30 42.5ha	45haを維持	H31見込みが45ha
4	ゆず生産量	445.0ha（H26）	445.0tを維持	H30 490.0t	445tを維持	
5	栗栽培面積	39.5ha（H26）	47.0ha	H30 48.0ha	60.0ha	
6	栗生産量	15.1ha（H27）	60.0t	H30 16.1t	60.0t	
7	しまんと農法米栽培面積	—	20.0ha	H30 10.22ha	20.0ha	
8	しまんと農法米生産量	—	88.4t	H30 33.2t	80.0t	
9	園芸用ハウス整備面積（次世代型ハウス含む）	—	5年間で20件	H30 3件	5年間で20件	H27-H30で14件
10	環境制御装置導入農家数	—	20戸	H30 4戸	5年間で20戸	H27-H30で20戸
11	次世代施設園芸等への誘致企業数	—	1社	H30 0社	1社	
12	無料職業紹介所	1箇所（H26）	2箇所	H30 2箇所	2箇所	指標を変更予定
13	生産・集出荷支援システム取組件数	5件（H26）	5件を維持	H30 5件	5件を維持	
14	農林水産等直販所販売額	11億5,600万円（H25）	13億円	H29 13億1200万円	15億円	
15	学校給食への市内農産物（野菜類）の供給率	64.8%（H26）	50.0% H30.3設定	H30 39.1%	50.0%	指標変更（追加）を検討中
16	新規就農者数（移住夫婦研修者含む）	—	3人/年	H30 2人/年	3人/年	H27-H30平均2.8人 夫婦の項目は削除予定
17	認定農業者数	127人（H25）	150人	H30 139人	150人	
18	集落営農組織数	20組織（H26）	25組織	H30 31組織	31組織	
19	農業経営を行う法人数	2法人（H26）	9法人	H30 4法人	8法人	
20	ほ場整備実施面積	1,064.9ha（H26）	1,014.0ha	H30 1,114.4ha	1,144.0ha	
21	中山間地域等直接支払制度の実施農地面積	461.6ha（H26）	461.6haを維持	H30 518.9ha	518.9haを維持	
22	多面的機能支払制度の実施農地面積	1,513.0ha（H26）	1,513haを維持	H30 1,487.8ha	1,434.0ha	H31見込みが1,434ha
23	環境保全型農業直接支援対策事業参加経営面積	21.0ha（H26）	30ha	H30 21.4ha	25.0ha	
24	環境保全型農業推進事業実施経営体数	11戸（H26）	15戸	H30 21戸	20戸	
25	有機農業等総合対策支援事業実施面積	11.5ha（H26）	12.0ha	H30 6.7ha	6.0haを維持	H31見込みが6.0ha

2 林業分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	最新値	R6目標値	備考
1	「森の工場」の認定面積	3,586.0ha (H26)	4,000.0ha	H30 3,100.0ha	3,900.0ha	
2	市産材利用促進事業の着工戸数	30戸/年 (H23~H26平均)	30戸/年	H30 22戸/年	30戸/年	H27-H30平均27.3戸
3	原木生産量	47,000m ³ (H24)	60,000m ³	H29 71,945m ³	75,000m ³	産振Ver.1で設定
4	作業道開設実績延長累計	709,795m (H25)	790,000m	H29 836,368m	873,000m	
5	木材・木製品製造品出荷額等	7億5,000万円 (H24)	8億円	H29 804,960千円	9億円	産振Ver.1で設定
6	市産材製品ストック施設整備	—	整備	H30 —	削除	アクションプランも削除
7	シカの捕獲頭数	4,446頭 (H26)	6,000頭	H30 2,776頭	4,500頭	
8	特用林産物(しいたけ、木炭)生産量	48,466kg (H25)	55,000kg	H29 23,718kg	48,000kg	基準値への回復目標
9	小規模林業活動の技術研修及び安全講習の延参加人数	延べ78人/年 (H26)	延べ80人/年	H30 延べ40人/年	80人	
10	新規林業就業者数	—	3人/年	H30 4人/年	5人/年	H27-H30平均5人

3 水産業分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	最新値	R6目標値	備考
1	内水面漁業漁獲量	56.0t (H24)	65.0t	H29 49.0t	70.0t	産振Ver.1では80t
2	海面漁業漁獲量	30.0t (H24)	35.0t	H29 14.0t	30.0t	産振Ver.1では40t
3	内水面・沿岸資源の種苗放流	—	維持	H30 —	維持	
4	スジアオノリ自然栽培生産量	—	5.0t	H30 0.001t	削除	自然栽培継続は困難な状況
5	漁業体験研修の受講者数	—	H27~31の5年間で3人	H30 0人	R2~6の5年間で3人	
6	漁業協同組合の販売機能	—	強化	H30 —	強化	

4 商工業分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	最新値	R6目標値	備考
1	一次産品等を活かした新商品の開発	—	15アイテム	H30 11アイテム	30アイテム	
2	商店街通行者数(平日)	4,725人/日 (H22~H26平均)	4,845人/日	H30 6,208人/日	6,200人/日	
3	商店街空き店舗対策補助件数	2件/年 (H26)	5件/年	H30 2件/年	10件/5年	
4	道の駅「よって西土佐」入込客数	—	13万人	H30 186,924人	20万人	
5	施設の長寿命化・南海地震対策	—	強化	H30 —	強化	
6	住宅耐震化率	64.1% (H26)	73.5%	H30 69.7%	81.9%	
7	シェアオフィスへの誘致企業数	—	2社	H30 0社	2社	
8	既誘致企業での雇用者数	—	20名増	H30 22人 (5名純増)	50人	
9	産業祭来場者数	2,000人 (H25)	20,000人	H30 20,000人	40,000人/5年	
10	商談会等での商談件数	108件/年 (H26)	150件/年	H30 542件/年	成約率25%	商談件数を商談成約率に変更 H30の成約率20.8%
11	創業に関する相談件数	8件/年 (H26)	45件/年	H30 30件/年	45件/年	

5 観光分野

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	最新値	R6目標値	備考
1	観光入込客数	125万6,000人 (H25)	130万人	H30 1,180,466人	130万人	産振Ver.1では140万人以上
2	市内宿泊者数	21万1,000人 (H25)	22万人	H30 192,279人	22万人	産振Ver.1では25万人以上
3	体験・宿泊等のプラン造成件数	—	10アイテム	H30 2アイテム	削除	
4	体験型観光受入研究会加入団体数	23団体 (H26)	30団体	H30 23団体	削除	
5	一人当たりの観光消費額	14,700円 (H26)	18,150円	H30 —	削除	独自調査が困難なため別の指標を検討中
6	レンタサイクル利用者数	4,307人 (H26)	5,000人	H30 4,665人	8,000人	
7	広域における一般観光客数	125万8,750人 (H26)	53,750人増	H30 1,180,466人	64,500人	
8	広域におけるスポーツ客数	9万1,500人 (H25)	10,000人増	H30 178,977人	12,200人	
9	広域における外国人延べ宿泊数	8,476人泊 (H27)	13,300人泊	H30 12,101人泊	削除	
10	広域組織に求められる5つの機能 ①商品の企画・立案②商品の造成・販売、取扱 ③広報、情報発信、窓口④地域の人材育成 ⑤観光産業化	—	強化	H30 —	強化	
11	(一社)四万十市観光協会ホームページアクセス数	119,577件 (H26)	150,000件	H30 189,053人	200,000人	
12	公設観光施設等利用者数	172,370人 (H26)	180,000人	H30 143,785人	170,000人	
13	二次交通利用者数	5,718人 (H26)	10,000人	H30 6,164人	10,000人	
14	外国人観光入込客数	1,341人 (H26)	5,000人	H30 3,287人	8,000人	
15	観光協会の案内機能	—	強化	H30 —	強化	

6 その他

No.	評価指標	基準値	目標値 (H31)	最新値	R6目標値	備考
1	移住相談者数	59件/年 (H24~H25平均)	100件/年	H30 200件	200件/年	
2	産業振興推進総合支援による新たな取り組み件数	—	3件/年	H30 2件	3件/年	H27-H30平均3.8件